

# 図書・資料室だより

## 子育て

『2人目、どうする?』



小林裕美子 // 著  
新潮社 2020年

不妊治療を経て、40歳で第1子を出産。その子が1歳になり、2人目を考えだした著者は…

子育てについて、ママ友たちと本音で語り「それぞれの家族の幸せの形」に触れながら、2人目に向けて始めた妊娠ライフを綴った一冊です。



『親になったの私だけ!?!』

ゆむい // 漫画

耳たぶ吸ってたも〜れ // 原作  
KADOKAWA 2020年

共に正社員の共働き夫婦に子どもができた時。妻には、ひどいつわり、育児への重圧、仕事復帰後の緊急の保育園対応などがのしかかるのに、夫の生活は何一つ変わらない。思わず出た妻の叫び「親になったのは私だけ!?!」

共働き夫婦が増えた今、夫婦の働き方を考えるコミックエッセイです。

## ★図書・資料室のオススメ

### 心の病気

ねこりよく

『猫力 うつな僕を救ってくれた猫』



仲村清司 // 著  
松野和宏 // 漫画  
アスコム 2015年  
「向田さん」と名付けられた猫と、うつ病をかかえる僕との、じんわり心温まる物語です。一つ一つの振る舞いが病の処方箋となり、いつしか主治医となっていく「向田さん」。僕はどん底から再生し、うつ病ともうまく向き合いながら著作を続けています。

## 多ジャンル コミックエッセイ

### 女性・男性の生きづらさ



『わかりあいたいのになぜかすれちがう女と男、このしんどさは誰のせい?』

描き子 // 著

永岡書店 2021年

「女」と「男」がわかり合い、生きづらさのない社会を目指すには…。女性・男性の視点から、女性の容姿、男性の甲斐性、結婚、出産、家事・育児の分担など多々生まれる、「女」「男」の息苦しさを描きます。ウェブメディアで大人気マンガエッセイの書籍化です。

## LGBTQ



『生まれる性別をまちがえた!』

小西真冬 // 著

## 海外の少女たち



『女の子がいる場所は』

やまじえびね // 著  
KADOKAWA 2022年

「サウジアラビア」「モロッコ」「インド」「アフガニスタン」そして「日本」。国も宗教も文化も違う少女たちが、「女だから」という理由で、女性差別を受けている現状を描いています。本書は、その実情に疑問を持ち、理不尽を受け流さず前へ進む少女たちの物語です。

## 介護



『ハードロック介護!』  
コバヤシ // 著

## 家族



『そして<彼>は<彼女>になった』

安富教授と困った仲間たち // 著  
細川貂々 // 著

## ダブルケア



初婚年齢や出産年齢が上昇し、育児世代の平均年齢が上昇する中で、育児をしながらの介護や、家族や親族など複数の人を世話している多重ケアのことを「ダブルケア」と呼びます。

「通院の予約をとり、一緒に行く」「週に1回実家に行って、掃除をしている」「1日2回電話をして、父親の様子を確認している」「電話で父親の介護をする母親の愚痴を聞いている」などの行動や、ケアマネージャーやヘルパーと連絡を取り合っているという「介護マネジメント」とでも呼ぶべき行動なども介護と考えれば、より多くの方が「自分もダブルケアラーである」と思い当たるかもしれません。

平成28年の内閣府の調査によると、ダブルケアに直面した場合に業務量や労働時間を減らしたと答えた男性は約2割に対して、女性は約4割でそのうちの半数近くが仕事をやめたとしています。

参考：『男女共同参画白書 平成28年版』  
『We learn 2022年9月号』

### 図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9:00~17:00
  - 12月の休室日 5日, 12日, 19日, 26日~31日
  - 貸出(本・雑誌) 15冊 3週間まで  
(DVD) 2本 1週間まで
  - お問い合わせ先(電話)  
0748-37-3735(図書・資料室直通)  
0748-37-3751(センター代表)
- ※新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、休室日については変更になることがあります。



男女共同参画絵本を紹介



『わたしたち手で話します』  
フランツ＝ヨーゼフ・ファイニク // 作  
フェレーナ・バルハウス // 絵  
ささきたづこ // 訳  
あかね書房 2006年

生まれつき耳の不自由なリーザは、広場で手話を使う男の子トマスと出会います。リーザは広場で友達になった子どもたちと、トマスのおうちに遊びに行き、トマスの両親も耳が聞こえないことを知りますが…。

耳が不自由でも、たくさんのツールを使い、楽しく過ごすことができることを伝えています。